

サッカースタジアム本体の外観及び広場のデザイン変更について

広島市サッカースタジアム整備等事業者選定審議会（以下「審議会」という。）の答申にあった付帯意見（スタジアム本体の外観及び広場のデザイン変更）を受け、審議会の各委員及び事業者（大成建設JV）と協議を重ね、設計提案の一部を以下のとおり修正いたします。

1 答申内容（付帯意見）

- (1) 戦後の広島を形作ってきた都市景観の歴史を踏まえ、周辺環境と調和し、県民・市民に親しまれる外観デザイン、特に屋根形状などの更なる検討
- (2) 広場エリアは、既存の広場が持つおおらかな開放感の継承と、スタジアムエリアとの一体感を生み出すデザインの工夫

2 審議会委員からの主な意見と対応

(1) スタジアム本体の外観

ア 平和記念資料館を始め、水平線を強調した建築による歴史ある都市景観との協調、また多くの川が街中を流れることによる対岸からの眺め、都市の景色は広島市街地の特徴であり、西側のファサードも含めた水平線の強調の重要性についての意見

- 南側の屋根形状は、水平にカットした端部形状に修正し水平線を強調
- 西側の本川に面するファサードについても、平面プランと整合を図り、可能な箇所に庇形状の跳ね出しを付加することで、水平線を強調した立面に修正

イ 四隅がオープンな屋根形状に関連して北側の住居地域への騒音対策が、必要との意見

- 北側の屋根開口部は、屋根下を壁状に塞ぐことで近隣に配慮

(2) 広場エリア

各エリアが作り込み過ぎており、様々なイベント開催時の制約になるのではないか。もう少し自由度のある、おおらかで伸びやかな広場とすべき

- 1つの大きな楕円形の芝生広場とし、その周囲の園路も、既存の位置を一部利用しながら、広高の森の中も回遊できる園路とすることで、公園全体を大きく包み込むような形状に修正
- 縦軸の噴水は、南側に円形状に霧が吹くような噴水とすることで、芝生広場での様々なイベントを妨げることなく平和軸を感じる計画に修正
- 芝生広場を囲む園路は、スタジアム側のだんだんテラス大階段やスロープに繋がり、一体感に配慮
- 公園内の安全性や樹木の生育に配慮された既存樹木の整理と併せて、芝生広場と広高の森がつながるような計画

以下が修正後のイメージ図になります。
修正する内容の詳細は、今後、設計を進める中で決定します。
なお、今後、設計などにより、内容が変更となる場合があります。



※赤着色部は Park-PFI 事業の提案区域

